

@Wave



コミックバスター
全国160店

「複合カフェは娯楽ではない」からいって、 1店舗ごとエリアの中で存在価値を高めていく②

複合カフェという業態がもつ爆発しないのは、全体のイメージとしてまとまりがないように見えるからでは

「私はこのまま爆発はしないと思っています。というのは、ネットカフェは娯楽ではないからです。そもそも、何か強力なコンテンツ、映画や音楽のように派手なコンテンツで呼べる、そのイメージに引きずられて爆発するというような業態ではありません。」

私の目標は400店舗なんです。そのチェーン店全体で消費者にアピールする、例えばここだけのコンテンツなどといったものがあるに越したことはないんですが、私自身イメージが湧きません。やはり1店舗ごと、その店舗が押しこめられるエリアの中で存

在価値を高めていく。あくまで1店舗ごと、100店舗あれば100通り、そのエリアのお店で消費者の心をつかんでいくことだと思っています。複合カフェという業種はそういう業種だと考えています。他店にないものをどう取り入れていくかというのが、当然積み上げていかならなければいけないことです。ほんとに地味な商売(笑)。ですが、味のあるいい商売だと思っています。どこをどうすればもっと満足してもらえるか、もつと来てもらえませんか、それが業

「確かに、その商圏でのリピーター商売ですが、その中にも入れ替えは絶えずあります。4、5年営業している80坪くらいのお店がいまだに新規のお客さんが毎月700人ずつ増え続けているというところもあります。駅前でもないのにですよ。80%は確かにリピーターなんです。それだけとは言えません。先ほどの話のように、まだまだ認知度が足りていない。喫茶店行くならネットカフェ行こうかという層をもっと掘り起こせると思っています。」

一番苦労するところではないですか、みんな一緒に考えるのが楽です。」

「160店あるわけには、コミックバスターというチェーンブランドがあまりにも弱いとはけっこう言われることなのですが、そんなに強くなる必要はないと思う

株式会社アクロス 原田社長インタビュー

コミックバスターは現在全国に約160店、直営3店。ランシシステムの自遊空間に次いで業界第2位。原田社長は約25年前、会社員から独立してビデオショップを開業。開業サポートした店の数は100店舗はくだらないという。このビデオショップでの経験が、現在行っているネットカフェのフランチャイズ展開という業務にも役立っている。

「元氣」なイメージ②



元氣なイメージ②